

# 第四次町田市子ども読書活動推進計画

## 2023年度取組結果報告書

町田市教育委員会

2024年7月

## 目次

### 基本目標Ⅰ 子どもが本と出会うきっかけ作り

- 1-1 …… 図書館でのおはなし会
- 1-2 …… 「子育てひろば」でのおはなし会
- 1-3 …… 学童保育クラブのおはなし会
- 1-4 …… 子どもセンターのおはなし会
- 1-5 …… 自由民権資料館まつりでのおはなし会
- 1-6 …… 「きしゃポッポ」等での読み聞かせ
- 1-7 …… 健診時のおはなし会(廃止)
- 1-8 …… ブックトーク
- 1-9 …… 図書館のおすすめブックリスト
- 1-10 …… ことばらんどショートショートコンクール
- 1-11 …… 図書館でのイベント・講座
- 1-12 …… 文学館でのイベント・講座
- 1-13 …… 図書館見学の受け入れ
- 1-14 …… マイ保育園登録時の絵本配布
- 1-15 …… イベント等における本の活用
- 1-16 …… 母子バッグへのおすすめ絵本リスト同封
- 1-17 …… 各校特色のある読書活動

### 基本目標Ⅱ いつでも身近なところに本がある環境作り

- 2-1 …… えいごのまちだ
- 2-2 …… 図書館児童資料
- 2-3 …… 公立保育園および地域子育て相談センター
- 2-4 …… 学童保育クラブ
- 2-5 …… 子どもセンター
- 2-6 …… 「学校図書館活用の手引き」
- 2-7 …… 学校図書館の蔵書整備
- 2-8 …… 学校図書館支援貸出
- 2-9 …… 「子育てひろばカレンダー」の発行
- 2-10 …… 「生涯学習NAVI」の発行
- 2-11 …… まちだ子育てサイトの活用
- 2-12 …… 図書館公式ホームページ・Twitter
- 2-13 …… 「家庭学習推進の手引き」の提供
- 2-14 …… 「本と出会う場所」マップ

### 基本目標Ⅲ 子どもの読書に関わる人の配置と育成

- 3-1 …… 学校図書館担当者研修
- 3-2 …… 新任教諭への図書館研修
- 3-3 …… 児童文学講座の実施
- 3-4 …… 保護者向け絵本の読み聞かせ講座の実施
- 3-5 …… 図書館おはなし会ボランティアの養成
- 3-6 …… 文学館おはなし会ボランティアの養成

#### 自己評価 凡例

各取組について、担当課にはAからCの三段階で自己評価をしていただきました。

A: 予定以上に取り組めた

B: 予定通りに取り組めた

C: 予定よりも取り組めなかった

基本目標Ⅰ ◎子どもが本と出会うきっかけ作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2023年度目標	2023年度取組	2023年度取組結果	自己評価	2024年度目標	2024年度取組予定
1	1	おはなし会	図書館でのおはなし会	図書館	乳幼小保	乳幼児向けから小学校低学年向けまで、年齢・発達にあったおはなし会を、各図書館が工夫をこらして実施する。	・「おはなし会」を全館で定期的に開催する。	・新型コロナウイルス感染症の影響により、2年連続で中止している「ボランティアとの懇談会」を開催する。 ・「(全館の)児童担当者による打合せ」を実施し、開催にあたって生じた課題を検討する。 ・現在、不定期で開催している「おはなし会」を、通常どおり定期的に開催する。 ・実施可能な館による「出張おはなし会」を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ボランティアとの懇談会」は、ボランティアの負担を軽減するため、書面で必要事項を伝えるようにし、鶴川図書館以外は対面で行わずに書面で行った。</li> <li>・全館の担当者による打ち合わせを4回行い、おはなし会、出張おはなし会の実施状況等を議論した。</li> <li>・おはなし会を以下のとおり、定期的に開催した。</li> <li>【中央図書館】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きい子向けおはなし会: 48回開催、394名参加</li> <li>・小さい子向けおはなし会: 12回開催、134名参加</li> <li>・乳幼児向けおはなし会: 22回開催、202名参加</li> <li>・こわいおはなし会: 2回開催、9名参加</li> </ul> </li> <li>【さるびあ図書館】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなし会: 12回開催、114名参加</li> <li>・小さい子向けおはなし会: 5回開催、20名参加</li> <li>・乳幼児向けおはなし会: 12回開催、111名参加</li> </ul> </li> <li>【鶴川図書館】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなし会: 9回開催、36名参加</li> <li>・乳幼児向けおはなし会: 9回開催、49名参加</li> <li>・だんちでえほん(URと共催): 2回開催、22名参加</li> </ul> </li> <li>【金森図書館】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなし会: 48回開催、446名参加</li> <li>・乳幼児向けおはなし会: 22回開催、99名参加</li> <li>・こわいおはなし会: 1回開催、10名参加</li> </ul> </li> <li>【木曾山崎図書館】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きい子向けおはなし会: 11回開催、37名参加</li> <li>・赤ちゃんと小さい子向けおはなし会: 7回開催、29名参加</li> </ul> </li> <li>【おはなし会(臨時開催)】: 2回開催、6名参加</li> <li>【塚図書館】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなし会: 7回開催、36名参加</li> <li>・こうさき保育園向けおはなし会: 10回開催、185名参加</li> <li>・乳幼児向けおはなし会: 9回開催、48名参加</li> <li>・おはなし会(40周年記念): 2回開催、68名参加</li> </ul> </li> <li>【忠生図書館】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きい子向けおはなし会: 21回開催、220名参加</li> <li>・大きい子向けこわいおはなし会: 1回開催、17名参加</li> <li>・大きい子向け工作おはなし会: 1回開催、15名参加</li> <li>・しげんの国保育園おはなし会: 11回開催、97名参加</li> <li>・小さい子向けおはなし会: 4回開催、58名参加</li> <li>・おはなし会(小学校等): 3回開催、81名参加</li> <li>・英語絵本おはなし会: 1回開催、18名参加</li> <li>・乳幼児向けおはなし会: 11回開催、80名参加</li> </ul> </li> <li>・出張おはなし会についても、以下のとおり実施可能な館で実施した。</li> <li>【中央図書館】【さるびあ図書館】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・まあちでだっこのおはなし会(出張): 4回開催、108名参加</li> </ul> </li> <li>【さるびあ図書館】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・せりがや冒険遊び場前でのおはなし会: 8回開催、90名参加</li> </ul> </li> <li>【木曾山崎図書館】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・七国山小学校おはなし会: 19回開催、536名参加</li> </ul> </li> <li>【塚図書館】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・WAAAOおはなし会: 1回開催18名参加</li> </ul> </li> </ul>	B	・2024年度は、ボランティアの役割の検討なども踏まえて、より効果的に開催できるよう検討を行う。	・2023年度と同様の日時と規模感で定期的に開催する。

基本目標Ⅰ ◎子どもが本と出会うきっかけ作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2023年度目標	2023年度取組	2023年度取組結果	自己評価	2024年度目標	2024年度取組予定
1	2	おはなし会	「子育てひろば」でのおはなし会	子育て推進課	乳幼児	「子育てひろば」事業の一つとして、地域子育て相談センターが乳幼児向けおはなし会を開催する。絵本や紙芝居の読み聞かせを中心に行う。見て聞いて絵本の楽しさを味わえるように、わかりやすい絵本を提供しながら取り組む。		・図書館の絵本も活用しながら、地域の親子に絵本に触れる機会を提供する。 ・引き続き、子育てひろばの出し物の一つとして、絵本に触れる機会を設ける。 ・図書館職員やボランティアによるお話し会を取り入れていく。	・おはなし会を主とした子育てひろばを162回開催した。 ・子育てひろばの中で読み聞かせ等の時間を必ず作ることで、絵本やお話しに触れる機会が持てるようになった。また、町田地域子育て相談センターでは、子育てひろばの他に「行っている！スポットタイム」にて、おはなし会を24回開催した。 ・読み手も職員だけではなく、ボランティアに行ってもらった機会があった。 ・忠生市民センターで行う子育てひろばでは、図書館と連携し、図書館職員によるお話し会を6回開催した。	B	・おはなし会の開催の維持 ・お話しボランティアの活用	・引き続き、子育てひろばの中で、絵本に触れる機会を設ける。 ・年齢や季節に合わせた絵本の紹介を行っていく。 ・子育てひろばの中だけでなく、読み聞かせボランティアによるおはなし会を取り入れていく。
1	3	おはなし会	学童保育クラブのおはなし会	児童青少年課	小	在籍する子どものために、おはなし会を実施する。また、子どもセンターや図書館のおはなし会に参加しておはなし会を聞く機会を確保する。		・3年生以上の児童が読み聞かせを行う機会を増やせるよう、職員が児童に働きかけ、楽しくやりがいを感じながら実施できるよう支援していく。 ・毎月1回実施するお話し会の中で、高学年児童の読み聞かせを行う機会を増せるよう、職員が高学年児童に働きかけ、楽しくやりがいを感じながら実施できるよう支援していく。	・中央学童保育クラブおよび18の指定管理施設において、月1回以上、おはなし会を実施した。うち5のクラブでは地域のボランティアと協力して行った。 ・とくに中央学童保育クラブでは、毎週おはなし会を開催し、職員が読み聞かせだけでなく、楽しくやりがいを感じながら読書活動に参加できるよう、高学年児童が話し手として参加し、低学年児童を楽しませる役割を果たした。	B	・おはなし会を通じて、児童の発達に応じ、図書に触れ合うきっかけづくりを図る。	・毎月1回以上おはなし会を実施し、児童の発達に応じた図書に触れ合うことで、読む楽しさを体感できるように機会を創出する。
1	4	おはなし会	子どもセンターのおはなし会	児童青少年課	乳幼小	市民に向けた「乳幼児向けおはなし会」を行う。	【ばあん】 ・おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施する。	・2022年度も引き続き、感染状況に留意し、継続して事業を実施していく。また、夏休み事業等についても、2021年度と同様、実施していく予定である。	・原則毎月2回、おはなしボランティア団体「おはなしとんがりん♪」に依頼し、乳幼児及び未就学児を対象に、絵本・紙芝居・手遊び・パネルシアター・エプロンシアターなどを実施した。 ・季節（例：秋のおいも等）・行事（例：クリスマス等）に沿った内容のおはなしや手遊びを参加者に紹介した。	B	・おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施する。	・引き続き、継続して事業を実施していく。
							【つるっこ】 ・おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施する。	・新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、ボランティア団体「柿の木文庫」にご協力いただき、毎月1回の乳幼児向けお話し会、小学生向けの夏休みお話し会を実施していく。	・おはなしボランティア団体「柿の木文庫」による乳幼児向けのおはなし会「びよばおたいむ」を年10回実施した。 ・また、乳幼児から小学生向けの「柿の木文庫のおはなし会」を夏と冬に2回実施した。 ・地域ボランティアによる「クリスマスおはなし会」を実施した。	B	・おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施する。	・引き続き、継続して事業を実施していく。
							【ばお】 ・おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施する。	・新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、継続して事業を実施していく。	・毎月1回、おはなしボランティアによる乳幼児向けのおはなし会「おはなしアイアイ」を年12回実施した。毎月季節や行事に沿った内容の紙芝居や手遊びを参加者に提供した。	B	・おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施する。	・引き続き、継続して事業を実施していく。
							【わーお】 ・おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施する。 ・「おはなしたいむ」の実施回数を増やす。	・新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、継続して事業を実施していく。 ・不定期開催の「おはなしたいむ」については、月1〜2回程度、定例的に実施していく。	・「さくらんぼの会によるおはなし会」を、わらべうた、紙芝居、絵本の読み聞かせの他、季節の伝統行事なども取り入れながら、継続して月2回実施した。 ・地域ボランティアによる「おはなしの森」を9月より月1回、平日来館できない子ども達のために土曜日に実施した。 ・乳幼児向けの「堺図書館の職員によるおはなし会」を小学生向けの「こわいおはなし会」を夏休みに1回実施した。 ・職員の「おはなしたいむ」は、月1回定例開催とした。	B	・おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施する。	・引き続き、継続して事業を実施していく。
							【ただON】 ・おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施する。	・新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、継続して事業を実施していく。 ・忠生図書館共催事業「調べてミッション！図書館の本を使ってクイズに挑戦しよう！」については、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、実施できる方法を検討していく。	・月1回ボランティア団体による乳幼児向けのおはなし会を開催し、絵本の読み聞かせや季節にちなんだおはなしなどを提供した。 ・忠生図書館との共催事業「忠生図書館からの挑戦状（※）」を、7月に実施した。 （※「調べてミッション！図書館の本を使ってクイズに挑戦しよう！」から名称変更）	B	・おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施する。	・引き続き、継続して事業を実施していく。
							【まあち】 ・おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施する。	・新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、継続して事業を実施していく。	・毎月1回、おはなしボランティア団体「にこぼ」による、手遊び、わらべうた、絵本の読み聞かせなどのおはなし会（乳幼児向け）を実施した。 ・4、6、10、2月に各1回ずつ、中央図書館・さるびあ図書館との共催による乳幼児向けおはなし会を実施した。 ・夏休み期間に1回、さるびあ図書館との共催による小学生向けのおはなし会を実施した。	B	・おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施する。	・引き続き、継続して事業を実施していく。

基本目標Ⅰ ◎子どもが本と出会うきっかけ作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2023年度目標	2023年度取組	2023年度取組結果	自己評価	2024年度目標	2024年度取組予定
1	5	おはなし会	自由民権資料館まつりのおはなし会(紙芝居上演)	自由民権資料館	小中保	町田の郷土史に興味を持ってもらうために、「町田の民話」の紙芝居等を実施する。	・イベントや体験講座において町田の郷土史に興味を持ってもらえる図書の活用を目指す。	・イベントや体験講座において町田の郷土史に興味を持ってもらえる図書を紹介します。	・町田の郷土史に興味を持ってもらえるように、8月5日開催の体験講座や、7月22日～9月3日の期間で開催した企画展「町田のおかいこさん」展において、子ども向けの歴史書籍を紹介した。	B	・イベントや体験講座において町田の郷土史に興味を持ってもらえる図書の活用を目指す。	・引き続き、イベントや体験講座において町田の郷土史に興味を持ってもらえる図書を紹介します。
1	6	おはなし会	「きしゃポッポ」等での読み聞かせ	生涯学習センター	乳保	「きしゃポッポ」、「パパと一緒にきしゃポッポ」、親子対象のイベント等において、毎回読み聞かせ、紹介を行う。 ・大型絵本を活用する。	・「きしゃポッポ」、「パパと一緒にきしゃポッポ」において、毎回読み聞かせ、紹介を行う。 ・大型絵本を活用する。	・「きしゃポッポ」、「パパと一緒にきしゃポッポ」において、読み聞かせや紹介、絵本の展示を続けていきたい。また、引き続き大型絵本も活用したい。	・毎月テーマに沿った2冊を選び、「きしゃポッポ」、「パパと一緒にきしゃポッポ」で紹介し、読み聞かせを行った。 ・2冊のうち1冊は大型絵本を活用することとし、読み聞かせの際、親子で楽しみやすいように工夫をした。 ・事業実施時には展示も行った。	B	・「パパと一緒にきしゃポッポ」において、毎回読み聞かせ、紹介を行う。 ・大型絵本を活用する。	・「パパと一緒にきしゃポッポ」において、読み聞かせや紹介、絵本の展示を続けていく。また、引き続き大型絵本も活用する。 ・町田生涯学習センター運営見直し実行計画に基づき、事業の種類や回数は見直しを行っている。
1	8	ブックトーク	ブックトーク	図書館	幼小中	普及・継続に向けて、ブックトークのノウハウ共有とスキル向上を図る。 ・市内全域の小学校等と連携し、PRする。 ・全館でブックトークを再開する。	・市内全域の小学校等と連携し、PRする。 ・全館でブックトークを再開する。	・全館の「児童担当者による打合せ」を実施し、市内全域にPRできる方法を検討する。 ・依頼に基づき、ブックトークを実施する。	・2024年2月に行った打ち合わせでは他の案件を優先して検討したため、2024年度改めてPR方法について検討することとした。 ・依頼に基づき、以下のとおり、ブックトークを実施した。 【中央図書館】 ・7月14日「藤の台小学校(6年生)」:2クラス64名参加 ・12月15日「藤の台小学校(4年生)」:3クラス74名参加 ・1月18日「鶴川第一小学校(6年生)」:4クラス133名参加 【金森図書館】 ・1月25日「南第四小学校(1年生)」:3クラス83名参加 ・2月22日「南第四小学校(支援級 1・2年)」:18名参加 ・1月25日「南第四小学校(3年生)」:3クラス97名参加 【忠生図書館】 ・12月12日「函師小学校(5年生)」:3クラス96名参加 ・12月21日「函師小学校(3年生)」:3クラス88名参加 ・2月7日「忠生小学校(5年生)」:2クラス57名参加 ・2月26日「忠生小学校(3年生)」:3クラス85名参加	B	・ブックトークを事業として位置づけ、実施の在り方について検討する。	・ブックトークの効果的な実施方法について、検討を行っていく。
1	9	ブックリスト	図書館のおすすめブックリスト	図書館	乳幼小中保	＜赤ちゃん向け＞ 「あかちゃんとのしむえほん」 ＜幼児向け＞ 「ほんのたからじま 3・4・5さい」 ＜小学生向け＞ 「本のたからじま」(学年ごと) その他、新しい本からおすすめ「みんなでようもう子どもの本」、「YA通信」等を発行する。	・「ほんのたからじま 3・4・5さい」を、引き続き保育園・幼稚園に配布する。 ・「みんなでようもう子どもの本(総集編)」を、4/23子どもの読書週間に合わせて子ども関係施設に配布する。 ・22年度も継続して、「みんなでようもう子どもの本」、「YA通信」等を発行する。 ・「しん1ねんせい用本のたからじま」を学校に送付し、入学式で配布するよう依頼。 ・「みんなでようもう子どもの本」を2回発行し、子ども関係施設にて配布する。 ・「YA通信」を5回発行し、市内の全中学校・公立高校、私立学校等37校、子どもセンター等へ配布。	・「ほんのたからじま 3・4・5さい」を、引き続き保育園・幼稚園に配布する。 ・「しん1ねんせい用本のたからじま」を図書館で利用券を作成(更新)した新1年生に558部配布した。 ・「みんなでようもう子どもの本」2022年度版総集編を、印刷部数を調整して、子どもの読書週間に合わせて子ども関係施設に配布した。 ・「みんなでようもう子どもの本」188部、189部、190部を発行した。 ・「YA通信」254号から261号まで発行し、市内の全中学校・公立高校、私立学校等37校、子どもセンター等へ配布した。 【金森図書館】 ・図書館見学の時に配布した。 【堺図書館】 ・みんなでようもう子どもの本2019年及び2020年度版を、相原小学校2年生へ図書館見学の際に59部配布した。	【中央図書館】 「ほんのたからじま(3・4・5さい)」を、全市立保育園に配布し、私立保育園及び幼稚園には園長会で案内した。 「しん1ねんせい用本のたからじま」を図書館で利用券を作成(更新)した新1年生に558部配布した。 「みんなでようもう子どもの本」2022年度版総集編を、印刷部数を調整して、子どもの読書週間に合わせて子ども関係施設に配布した。 「みんなでようもう子どもの本」188部、189部、190部を発行した。 「YA通信」254号から261号まで発行し、市内の全中学校・公立高校、私立学校等37校、子どもセンター等へ配布した。 【金森図書館】 図書館見学の時に配布した。 【堺図書館】 みんなでようもう子どもの本2019年及び2020年度版を、相原小学校2年生へ図書館見学の際に59部配布した。	B	・継続して発行し、関係部署等に配布する。	・地域からの依頼に基づき、継続して図書館見学や職場体験を開催する。 ・「ほんのたからじま 3・4・5さい」を、引き続き保育園・幼稚園に案内及び配布する。 ・「みんなでようもう子どもの本」については、作成方法の見直しを検討し、あわせて利用者に効果的に届くように検討を行う。 ・2024年度も継続して、「YA通信」等を発行し、市内の全中学校・公立高校、私立学校等37校、子どもセンター等へ配布する。
1	10	子ども向け読書活動普及事業	ことばらんどショートショートコンクール (旧・町田市創作童話コンクール)	文学館	小中	青少年の創作活動の機会提供の一環として、子どもたちの豊かな人間性を育てることを目的として行っている「ことばらんどショートショートコンクール」を実施する。	・青少年の文学に触れあうきっかけとなるよう、引き続き「ショートショートコンクール」を実施する。 ・1,100編の応募数を目指す。	・多くの児童・生徒に応募してもらえるよう出張授業で創作の楽しさ、方法を伝える。 ・効果的なPR活動を行い「ショートショートコンクール」の認知度を高める。	・市内小中高生を対象に「ことばらんどショートショートコンクール2023」を実施。小学生404編、中学生552編、高校生46編の総数1,002編の応募があった。 ・コンクールの審査委員長を務める田丸雅智氏本人の指導による「ショートショート書き方講座」2回(参加生徒数350名)をはじめ、文学館職員による書き方講座を計11回(小学校6回、中学校3回、高等学校2回)開催し、延べ800名の生徒の受講があった。 ・2022年度受賞作品の展示を中央図書館、ポプリホールで実施した。	B	・コンクールへの応募総数1,050編を目指す。	・引き続きコンクールへの応募を促すため、各校担当教員等への積極的なPRと書き方講座の実施、受講を促す。 ・市内施設等での受賞作の展示等を実施し、コンクールのPR活動に努める。

基本目標Ⅰ ◎子どもが本と出会うきっかけ作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2023年度目標	2023年度取組	2023年度取組結果	自己評価	2024年度目標	2024年度取組予定
1	11	子ども向け読書活動普及事業	図書館のイベント・講座	図書館	乳幼小中	「一日図書館員」、「図書館の達人養成講座(まちクエ)」のような参加・体験型イベント、「まちだ図書館まつり」等の図書館事業を行う。	・新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、各館でイベントを実施する。	「一日図書館員」や「まちクエ」の参加者が増えるような工夫をし、引き続き体験型イベントの開催を行う。 「まちだ図書館まつり」のようなイベントを企画する団体の活動支援ができるよう体制を整える。	【中央図書館】 ・児童向けイベントとして「クイズラリー」にきものをさがせ！、「まちクエキッズ」を実施した。 ・中学生から大学生までを対象とした図書館員を体験できるイベント「一日図書館員」を4回実施し、16名の参加があった。 ・中央図書館内を巡って謎を解くイベント「まちクエ2023」を8月1日から8月31日まで実施し、50名の参加があった。アンケート回答者50名、内イベント対象学年は14名だった。 ・若者に図書館でのイベントの企画・運営を行ってもらい、図書館利用の促進を図ることを目的とした、「図書館プランナー(図書館イベントボランティア)」の募集を9月1日から開始した。登録者数は3月末で14名。 【鶴川図書館】 ・夏休みイベント「にきものをさがせ！」を実施した。 【金森図書館】 ・夏休みイベント「ようかいそうせんきょ」、「ようかいをさがせ！」を実施した。 【堺図書館】 ・開館40周年イベント「いきものをさがせ！」を実施した。 【忠生図書館】 ・夏休みイベント「ひつじちゃんをさがせ！」、「としよかんまじよからのちようせんじょう！」を実施した。  ・POPコンテストは324名からの応募があり、第1次審査は図書館職員、第2次審査は各館来館者・書店の来店者・地域文庫運営者の投票により、最優秀賞1名、優秀賞1名が決定。また、図書館協議会委員による投票で図書館協議会賞1名、応募作品全体から図書館長特別賞1名選ばれた。入賞作品はしおりにして、市内各所に配布した。	B	・各館でイベント引き続き実施する。	・イベントの参加者が増えるような工夫をし、引き続き体験型イベントの開催を行う。 ・子ども・若者が参加できるような取組を検討・推進する。
1	12	子ども向け読書活動普及事業	文学館のイベント・講座	文学館	乳幼小中	文学館の特徴をいかした、子ども対象の講座等を実施する。	・子ども達の「文学の扉」となる事業を、年齢に応じたプログラムで実施する。 ・子ども達に「創作」の機会や専門家から直接指導を受けられる体験の場を提供する。	・引き続き、子ども達の「文学の扉」となる事業を、年齢に応じた内容を工夫し実施する。	・子どもの年齢に応じた絵本の読み聞かせやわらべうたの事業として、「ちんぷいぷい」(0・1歳児対象)を23回、「2歳児あつまれ！」を4回、「3・4歳児あつまれ！」を4回実施し、それぞれ513名、31名、16名の参加があった。 ・小学生を対象に、野外に赴いて吟行を行う俳句教室「俳句でハイク」を春季(5月から7月)と秋季(10月から12月)に行い、春季には延べ27名、冬季には29名の参加があった。 ・絵本原面を中心とする夏季展の開催時期に併せて保育園・幼稚園の団体観覧者を募り、5施設から0歳から5歳児を中心に計140名(引率者を含む)の見学者を数えた。 ・秋季展のプレイベントとして、芹ヶ谷公園での屋外型絵本読み聞かせを実施し、延べ17名の親子が参加した。 ・文学系YouTuberスケザネ氏を招聘し、読書に関心のある10～20代向けの読書講座「10代・20代のためのスケザネ図書館」を開催し、8名の参加があった。	B	・子ども達の「文学の扉」となる事業を、成長過程や年齢に応じたプログラムで実施する。 ・屋外への吟行を実践し、「ことば」のリズムと創作の楽しさを体験する機会となる俳句教室を年2回(春・秋)開催する。 ・夏季(子ども向け)展覧会の開催に併せて、保育園・幼稚園施設から団体観覧者を積極的に誘致し、子ども達に文学に触れあう機会を提供する。	

基本目標Ⅰ ◎子どもが本と出会うきっかけ作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2023年度目標	2023年度取組	2023年度取組結果	自己評価	2024年度目標	2024年度取組予定
1	13	子ども向け読書活動普及事業	図書館見学の受け入れ(利用ガイダンス、施設見学)	図書館	幼小中	学校等からの見学ツアー等を受け入れ、図書館の利用方法、図書館の行っている仕事等を広める。	・依頼に基づき継続して受け入れていく。	・地域からの依頼に基づき図書館見学を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域からの依頼に基づき、以下のとおり実施した。</li> <li>【中央図書館】</li> <li>・7月7日「高ヶ坂小学校(2年生)」:当日猛暑のため中止</li> <li>・10月5日「町田第二小学校(2年生)」:58名参加</li> <li>・10月13日「町田第一小学校(2年生)」:5名参加(地域探検活動)</li> <li>・10月25日「町田第二小学校(3年生)」:106名参加</li> <li>・10月31日「つくし野小学校(3年生)」:69名参加</li> <li>【さるびあ図書館】</li> <li>・6月14日「町田第一小学校(2年生)」:58名参加</li> <li>・6月16日「町田第一小学校(2年生)」:60名参加</li> <li>【鶴川図書館】</li> <li>・10月18日「鶴川第四小学校(2年生)」:24名参加</li> <li>【金森図書館】</li> <li>・10月25日「小川小学校(2年生)」:59名参加</li> <li>・12月4日「南第三小学校(2年生)」:61名参加</li> <li>【木曾山崎図書館】</li> <li>・6月14日「七国山小学校(2年生)」:28名参加</li> <li>・6月15日「七国山小学校(2年生)」:26名参加</li> <li>・6月16日「七国山小学校(2年生)」:26名参加</li> <li>・10月13日「本町田小学校(2年生)」:37名参加</li> <li>・10月20日「本町田小学校(2年生)」:29名参加</li> <li>・10月27日「東京都立町田の丘学園(3年生)」:12名参加</li> <li>【堺図書館】</li> <li>・10月10日「相原小学校(2年生)」:64名参加</li> <li>【志生図書館】</li> <li>・9月13日「志生小学校(2年生)」:36名参加</li> <li>・9月27日「山崎小学校(6年生)」:5名参加(職場体験)</li> <li>・10月10日「園師小学校(2年生)」:90名参加</li> <li>・11月24日「志生小学校(特別支援学級)」:21名参加</li> <li>・12月6日「山崎小学校(2年生)」:43名参加</li> </ul>	B	・依頼に基づき継続して受け入れていく。	・地域からの依頼に基づき、継続して図書館見学や職場体験を開催する。
1	14	子ども向け読書活動普及事業	マイ保育園登録時の絵本配布	子育て推進課	乳保	0歳で新規に「マイ保育園」登録とした赤ちゃんには絵本を配布する。絵本に関しては、図書館と連携して0歳向けのものを選定する。	・マイ保育園登録につながるよう、動奨訪問で登録を勧めていく。	・引き続き、0歳でマイ保育園新規登録者には、絵本を配布していく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1,253冊の絵本を0歳のマイ保育園新規登録者に配布した。</li> <li>※マイ保育園とは、地域の家庭が近隣の保育園を「かかりつけ保育園」として登録し、気軽に相談できるような子育て支援のこと。</li> </ul>	B	・マイ保育園登録につながるよう、動奨訪問で登録を勧めていく。	・引き続き、0歳のマイ保育園新規登録者には、絵本を配布していく。
1	15	子ども向け読書活動普及事業	イベント等における本の活用	生涯学習センター	乳幼小中保	イベントや講座等を開催する際に、テーマや対象にあった本を展示紹介する。	・本の展示、紹介を行う内容を含む事業を企画・実施する	・平和祈念事業や講座において、本の展示や紹介を行う内容を、企画・実施したい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平和祈念事業において、子ども向け紙芝居の読み聞かせを行った。</li> <li>・家庭教育支援学級において、受講生同士が絵本を持ち寄って、紹介・情報交換し合う時間を設けた。</li> <li>・市民大学「まちだの福祉」において公開講座「絵本とジェンダー ～社会と「わたし」を映すメディアの世界～」を実施し、ジェンダー平等の視点で絵本を紹介する講座を行った。</li> </ul>	B	・講座やイベントにおいて、本の展示や紹介を行う内容を、企画・実施する。	・講座やイベントにおいて、本の展示や紹介を行う内容を、企画・実施する。
1	16	子ども向け読書活動普及事業	母子バッグへのおすすめ絵本リスト同封	保健予防課	乳保	母子手帳と一緒に配布される母子バッグに、赤ちゃんにおすすめの絵本のリストを入れる。	・赤ちゃんにおすすめの絵本を紹介し、絵本に親しんでもらう。	・妊娠届出/転入の妊婦に対して、「おすすめ絵本リスト」を封入した母子バッグの配布を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通し、妊娠届出の妊婦及び転入の妊婦に対し、「あかちゃんとのしむ絵本」を封入した母子バッグを配布。</li> <li>(妊娠届出:2177件、転入:236件)</li> </ul>	B	・赤ちゃんにおすすめの絵本を紹介し、絵本に親しんでもらう。	・引き続き、妊娠届出または転入の妊婦に対して、赤ちゃんにおすすめの絵本のリストを母子健康バッグに封入して配布する。
1	17	各学校での読書活動	各校特色のある読書活動	学校・指導課	小中	教育課程「指導の重点」に明記し、市立小・中学校においてそれぞれ特色ある読書活動に継続的に取り組む。	・教育課程「指導の重点」に位置付けた、各校の特色ある読書活動を推進する。	・特色ある読書活動に取り組んでいる学校の実践例を研修等で紹介できるように、情報収集を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回学校図書館担当者研修会を木曾中学校で行い、読書活動の推進を図る実践例等について紹介、共有することができた。</li> </ul>	B	・教育課程「指導の重点」に位置付けた、各校の特色ある読書活動を推進する。	・特色ある読書活動に取り組んでいる学校の実践例を研修等で紹介できるように、情報収集を行う。

基本目標Ⅱ ◎いつでも身近なところに本がある環境作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2023年度目標	2023年度取組	2023年度取組結果	自己評価	2024年度目標	2024年度取組予定
2	1	図書資料の充実	えいごのまちだ	図書館	乳幼小中	町田市が取り組む「えいごのまちだ」事業を推進し、英語の児童書を充実する。	・電子書籍サービスの音声付き電子書籍Read Along(リード・アロング)と、多読コーナーの周知を図る。	・引き続き、英語多読につながる図書の購入を進め、まだ多読コーナーを設置していない館にも設置するようにする。 ・ふるさと納税の寄付金対象事業となったため、多くの支援を受けるための宣伝に力を入れる。	・多読コーナーに設置する児童用英語教材や英語絵本の選定及び発注について、選書担当と共に打合せ・本の検討を行った。 ・英語多読講演会として、8月26日(日)「もっと英語多読が楽しくなる!」、11月12日(日)「英語多読への招待～図書館の森に多読の木を植えよう～」を開催した。 ・親子で参加する英語絵本の読み聞かせ講演会、2月11日(日)「子どもと一緒に英語絵本を読もう!」を開催した。	A	・電子書籍サービスの音声付き電子書籍Read Along(リード・アロング)と、多読コーナーの周知を図る。	・英語多読につながる図書の購入を進め、英語多読コーナーの周知に努める。 ・ふるさと納税対象事業であるため、支援を受けるための宣伝に力を入れる。
2	2	図書資料の充実	図書館児童資料	図書館	乳幼小中	図書館において、児童・生徒の興味関心や調べ学習に対応できる蔵書構成、資料の充実に努めるとともに、引き続き幅広いニーズに迅速に応えられるよう、情報収集に努める。	・カウンター業務における読書相談を丁寧に行い、利用者のニーズを把握する。	・引き続き選定会議で、現物を見たらうで、新刊の内容を確認してから発注する。 ・カウンター業務における読書相談を丁寧に行い、利用者のニーズを把握する。 ・ビジネスチャットの活用について、担当者打合せ等で検討。	【中央図書館】 ・選定会議で、現物を見たらうで、新刊の内容を確認してから発注した。 ・カウンター業務における読書相談を丁寧に行い、利用者のニーズを把握し、おはなし会の開催時間を変更した。 ・ビジネスチャット等を活用して連絡事項等のやり取りを行えるようになったので、資料を選定する際の活用方法について、引き続き検討する。 【金森図書館】 ・乳幼児向け絵本や、紙芝居など利用の多いものを購入した。 ・利用頻度の高いものは買換えをし、状態の良い資料の提供を心がけた。 【堺図書館】 ・堺図書館及び移動図書館の利用ニーズを考慮して、乳幼児の絵本や優しい知識の本を購入した。 ・現代の子どもたちの利用ニーズを考慮し、知識のシリーズ本を最新の増補改訂版に買い替えをした。	B	・館で行っているカウンター業務における読書相談を活用し、館の利用者のニーズではなく、市立図書館の情報として把握する仕組みを構築する。	・カウンター業務における読書相談の活用方法を全館の担当者の打ち合わせで検討する。
2	3	図書資料の充実	公立保育園および地域子育て相談センター	子育て推進課	乳幼	引き続き、絵本の状況確認を行いながら、必要に応じて本の購入や図書館の再利用本活用で資料の充実を図る。また図書館の団体貸出もあわせて利用する。	・子ども達に絵本に触れる機会を多く作っていく。	・新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、活用を検討していく。	・園児が図書館に赴き、団体利用貸し出しを34回利用した。 ・園児は自分で好きな絵本を選ぶ楽しさを味わうことができた。 ・保育園では絵本を購入し、園児がいつでも手に取れる環境を整えたことで、園児の興味関心を更に広げることができた。	B	・子ども達に絵本に触れる機会を多く作っていく。	・自分で興味のある本を選べる楽しさを感じられるよう、図書館の利用を進めていく。 ・再利用図書を活用を行い、園内の貸し出し本の充実を図っていく。
2	4	図書資料の充実	学童保育クラブ	児童青少年課	小	事前にリスト等で選定した再利用本を年代別にし、計画的に受入れる。団体貸出では、年代別のおすすめ等をパッケージ化することで利用の促進を図る。	・再利用本を活用し蔵書を増やす。 ・定期的に団体貸出を利用し、おはなし会や読み聞かせで活用する。	・利用者や地域の方から提供される再利用本を活用する。 ・定期的な団体貸出を活用し、お話し会や読み聞かせで活用する。	・学童保育クラブの利用者や子どもセンターから提供される再利用本を活用することで、図書の充実を図った。 ・指定管理者が運営する学童保育クラブにおいては、図書館から提供される再利用本を活用したほか、17のクラブが団体貸出も活用したことで、おはなし会や読み聞かせの内容を充実させて開催することができた。	B	・再利用本を活用し学童保育クラブの蔵書を充実させることで、児童の発達に応じた図書に触れ合う機会を増やす。 ・定期的に団体貸出を活用し、おはなし会や読み聞かせを充実した内容で開催する。	・利用者や地域の方から提供される再利用本を活用する。 ・図書館において定期的に実施する団体貸出を活用し、おはなし会や読み聞かせを充実した内容で開催する。



基本目標Ⅱ ◎いつでも身近なところに本がある環境作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2023年度目標	2023年度取組	2023年度取組結果	自己評価	2024年度目標	2024年度取組予定
2	5	図書資料の充実	子どもセンター	児童青少年課	幼小中	事前にリスト等で選定した再利用本を年代別にし、計画的に受入れる。団体貸出では、年代別のおすすめ等をパッケージ化することで利用の促進を図る。	・再利用本を活用し蔵書を増やす。 ・子ども委員会や来館者の子どもたちからリクエストを募り、図書の充実にを図る。	・利用者や地域の方から提供される本、再利用本や団体貸出を活用する。 ・子ども委員会や来館者の子どもたちからリクエストを募り、図書の新規購入を行う。	・図書館の団体貸出を利用し、絵本や大型絵本、紙芝居を乳幼児事業で活用した。 ・読み聞かせのプログラムで好評だった本を選び、新規購入を行った。 ・利用者アンケートおよび子ども委員の希望をもとに本を選び、新規購入を行った。	B	・再利用本や団体貸出を活用し、図書の充実にを図る。 ・図書の新規購入の際は、子ども委員会や来館者の子どもたちからリクエストを募り、子どもの意見を反映させる。	・引き続き、利用者や地域の方から提供される本、再利用本や団体貸出を活用する。 ・子ども委員会や来館者の子どもたちからリクエストを募り、図書の新規購入を行う。
2	6	学校図書館の整備	「学校図書館活動の手引き」	学校・指導課	施	活用状況を把握するとともに研修等の内容に反映させ、普及・啓発を図っていく。	・「学校図書館活動の手引き」を活用し、学校図書館の効果的な活用を図る。	・研修等で活用についての状況調査を行い、注目が高い内容について、研修の内容や講師の選定にも活用する。	・第1回学校図書館担当者研修会において、「学校図書館活動の手引き」を活用して研修を行った。また、各学校の具体的な取組については、情報交換の時間を設けて、よい実践を共有することができた。	B	・「学校図書館活動の手引き」を活用し、学校図書館の効果的な活用を図る。	・第1回目の研修で、「学校図書館活動の手引き」について周知するとともに、各学校の取組について情報交換を行う。
2	7	学校図書館の整備	学校図書館の蔵書整備	学校・指導課	小中	組織的・計画的な選書、調和のとれた蔵書の構成方法について留意しながら、考慮し、学校図書館資料の充実に図る。	・組織的・計画的な選書、調和のとれた蔵書の構成方法について留意しながら、学校図書館資料の充実に図る。	・図書の選定については、学校の図書担当の教員が十分理解しておく必要がある。2022年度については年度の早い段階で司書教諭や図書担当教員に蔵書の構成方法について周知を図る。	・図書の選定、蔵書の構成方法や廃棄基準について、教育総務課と連携し、年度当初に悉皆研修で実施した学校図書館担当者研修会で説明することができた。	B	・組織的・計画的な選書、調和のとれた蔵書の構成方法について留意しながら、学校図書館資料の充実に図る。	・図書の選定については、学校の図書担当の教員が十分理解しておく必要がある。 ・2024年度についても、年度の早い段階で図書担当教員や図書指導員に教育総務課とも連携し蔵書の構成方法や廃棄基準などについても周知を図る。
2	7	学校図書館の整備	学校図書館の蔵書整備	教育総務課	小中	組織的・計画的な選書、調和のとれた蔵書の構成方法について留意しながら、考慮し、学校図書館資料の充実に図る。	・学校図書更新比率の現状把握。 ・町田市立学校図書館図書廃棄基準策定の検討。	・引き続き学校図書館図書標準の達成を支援するとともに、蔵書数を維持できるよう予算の確保に努める。 ・今後も各校の学校図書館の蔵書数や学校図書館図書標準の達成状況を確認する。	・学校図書館図書標準の達成を支援するとともに、適正な蔵書数を維持できるよう、学校規模に応じた予算配当を行い、全校で図書標準を達成した。 ・各学校図書館の蔵書数や学校図書館図書標準の達成状況を確認した。 ・学校図書館図書廃棄規程(案)を作成した。	B	・学校図書館図書標準全校達成。 ・学校図書更新比率全国平均以上の達成校31校。 ・町田市立学校図書館図書廃棄基準の策定。	・各学校図書館の蔵書数を確認し、引き続き学校図書館図書標準および学校図書更新比率全国平均以上の達成に向けて支援する。 ・関係部署や学校からの意見を取り入れながら、町田市立学校図書館図書廃棄基準を策定する。
2	8	学校図書館の整備	学校図書館支援貸出	図書館	小中施	図書館から学校図書館への貸出のしくみを改善するなど、支援方法を見直す。	・学校図書館支援に関するアンケート調査の結果を活用して、支援方法の検討を行う。	・引き続き各学校への支援方法を検討する。 ・「テーマ別貸出セット」の充実に向けて、引き続き資料の追加購入を進めていく。	・引き続き各学校へ学校図書館支援貸出を実施した。 ・学校図書館支援貸出を利用しやすくするために、「テーマ別貸出セット」として、「じどうしゃくらべ」や「伝統工芸」などのテーマで追加購入を行った。	B	・学校図書館支援貸出を通して、各学校への支援を行い、学校図書館との連携を進めていく。	・追加購入した「テーマ別貸出セット」や新たに作成した「学校支援おすすめリスト」などを各学校へ周知することで、学校支援貸出の活用を進めていく。

基本目標Ⅱ ◎いつでも身近なところに本がある環境作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2023年度目標	2023年度取組	2023年度取組結果	自己評価	2024年度目標	2024年度取組予定
2	9	情報の発信(保護者向け)	「子育てひろばカレンダー」の発行	子育て推進課	保	保育園で実施している子育てひろばに関する情報誌「子育てひろばカレンダー」に、図書館で開催しているおはなし会情報を掲載している。毎月25日に発行し、市内約160箇所配布している。	・親子がおはなしに触れる機会を発信していく。	・引き続き、図書館からの原稿掲載依頼に対応していく。	・「子育てひろばカレンダー」に図書館のおはなし会を町田地域、南地域、塚地域が各12回、鶴川地域が20回、忠生地域が22回。計78回掲載している。 ・「子育てひろばカレンダー」の冊子を165箇所配布している。 ・「子育てひろばカレンダー」は「子育てサイト」にも掲載しており、「子育てサイト」のQRコードチラシを56箇所配布している。	B	・親子がおはなしに触れる機会を発信していく。	・引き続き、図書館のおはなし会を子育てひろばカレンダーに掲載していく。
2	10	情報の発信(保護者向け)	「生涯学習NAVI」の発行	生涯学習センター	保	市民が参加できる講座・講演会、イベント情報を集めた情報誌「生涯学習NAVI」の中で、読書や読み聞かせに関する講座、おはなし会の情報を発信する。	・引き続き、読書や読み聞かせに関する講座、おはなし会等の情報を分かりやすく発信する。	・図書館、文学館の情報だけではなく、まちライブラリーなどさまざまな地域団体や教育機関等に情報提供を呼び掛け、情報の充実を図る。	・子どもとその保護者を対象とした、おはなし会や紙芝居や絵本、ことば遊びのイベントの情報を28件掲載した。 (春2,000部・夏1,650部、秋号1,485部、冬号1,800部を各市内公共施設や相模原市・大学・専門学校等で配布)	B	・引き続き、読書や読み聞かせに関する講座、おはなし会等の情報を分かりやすく発信する。	・引き続き、図書館や文学館の情報だけではなく、まちライブラリーや柿の木文庫など、さまざまな地域団体や教育機関等に情報提供を呼び掛け、情報の充実を図る。
2	11	情報の発信(保護者向け)	まちだ子育てサイトの活用	子ども総務課	保	「おはなし会」等のイベントや子どもの読書活動推進普及に役立つ情報を掲載する。	・引き続き、各施設で行われている「おはなし会」等のイベントの情報を発信する。	・引き続き、各施設で行われているイベントの情報を、分かりやすく見やすく伝えていく。	・庁内への周知及び掲載の呼び掛けを行うことで、子どもやその保護者向けのイベント情報の充実を図った。 ・誰もが情報を見やすく、探しやすくなるよう、サイト機能の検討を行った。	B	・引き続き、各施設で行われている「おはなし会」等のイベントの情報を発信する。	・子どもやその保護者向けのイベント情報があれば、まちだ子育てサイトに掲載するように、庁内に呼び掛け、情報の充実を図る。
2	12	情報の発信(保護者向け)	図書館ホームページ・Twitter	図書館	保	「おはなし会」等のイベントや子どもの読書活動推進普及に役立つ情報を掲載する。	・子ども読書に関する情報(イベント)をわかりやすく、早く発信していく。	・イベントのお知らせ以外のページ(「みんなでもようこども本」の紹介ページなど)のPRを検討する。 ・子育てサイトに「おはなし会」のページを掲載していることをより多くの人に知ってもらえるようPRを行う。	・毎月1日と15日に図書館ホームページとX(旧Twitter)にてイベント情報を掲載している。更新回数、図書館ホームページが258回、X(旧Twitter)が85回。 ・まちだ子育てサイトに「おはなし会」の情報を掲載している。夏休みは各館イベントごとにページを作成した。また、「本のかからじま」「みんなでもようこども本」「あかちゃんといっしょに絵本を読んでみましょう」のページを作成した。更新回数は104件。	A	・子ども読書に関する情報(イベント)をわかりやすく、早く発信していく。	・本の紹介ページ等の効果的な周知方法を検討していく。
2	13	情報の発信(保護者向け)	「家庭学習推進の手引き」の提供	学校・指導課	保	全家庭に「家庭学習推進の手引き」を作成し、配付していく。	・家庭でも、親子で本の読み聞かせをしたり、一緒に本を読む時間や場を設定したりするなど、読書に親しむことを啓発する。	・家庭学習の一環として「読書活動の推進」を行うことを継続する。	・「家庭学習推進の手引き」を各学校に展開することができた。 ・市立図書館と連携し、電子書籍サービスの学校での活用を図るため、児童生徒に対し、アカウント配布を行うことができた。	B	・家庭でも、親子で本の読み聞かせをしたり、一緒に本を読む時間や場を設定したりするなど、読書に親しむことを啓発する。	・家庭学習の一環として、「読書活動の推進」を行うことを継続する。 ・中央図書館とも連携し、電子書籍の活用事例等の紹介を行い、クロムブックを用いた家庭での読書活動も啓発する。
2	14	情報の発信(保護者向け)	「本と出会う場所」マップ	図書館	保	本に出会える施設や、おはなし会等を実施している団体の情報を集約した読書マップを2020年に作成・公開する。	・図書館ホームページに掲載している「町田市読書マップ」の修正対応。 ・ホームページ版の掲載内容の充実。	・紙媒体の改訂を行うため、登録施設への現況確認を行い、新規施設のリサーチを行う。 ・ホームページ版については、写真の追加等各施設の魅力が伝わるようなページづくりを検討する。	・読書マップについて、さらに内容の充実を図るため、今後のあり方について検討した。	B	・読書マップの内容を充実させていく。	・引き続きホームページ版については、写真の追加等各施設の魅力が伝わるようなページづくりを検討する。

基本目標Ⅲ 子どもの読書に関わる人の配置と育成

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2023年度目標	2023年度取組	2023年度取組結果	自己評価	2024年度目標	2024年度取組予定
3	1	施設運営職員 の育成 研修	学校図書館担当者研修	学校・指導課	施	図書指導員・学校司書が司書教諭等と連携して円滑な図書館運営を図れるよう、学校ごとの組織的・計画的な蔵書管理、調和のとれた蔵書や環境整備、学校図書館を活用した学習等、学校図書館を充実していくための研修を行う。また、図書指導員間での情報共有を行う。	・図書指導員と学校の図書担当が連携して、学校ごとの組織的・計画的な蔵書管理、調和のとれた蔵書や環境整備の研修を計画・実施する。 ・図書指導員間での情報共有を取り入れた研修の設定を行う。	・1回目の学校図書館担当者研修を悉皆研修とし、読書活動の充実に向けた実践事例の共有や学校図書館担当教員と図書指導員との連携について、研修を行うことができた。	B	・図書指導員と学校の図書担当が連携して、学校ごとの組織的・計画的な蔵書管理、調和のとれた蔵書や環境整備、学校図書館を活用した学習等、学校図書館を充実していく。	・図書指導員と学校の図書担当が連携して、学校ごとの組織的・計画的な蔵書管理、調和のとれた蔵書や環境整備の研修を計画・実施する。 ・図書指導員間での情報共有を取り入れた研修の場の設定を行う。	
3	2	施設運営職員 の育成 研修	新任教諭への図書館研修	学校・指導課	施	研修を通して、専門性が深まるように啓発していく。	・授業内容の充実を図るために図書館の図書支援サービスの活用を啓発する。	・初任者等研修の中で、町田市図書館の利用と図書支援サービスについての研修内容を取り入れる。	・1月に実施した初任者等研修の中で、町田市図書館の利用と図書支援サービスについての研修を実施することができた。	B	・授業内容の充実を図るために、図書館の図書支援サービスの活用を啓発する。	・初任者等研修の中で、町田市図書館の利用と図書支援サービスについての研修内容を取り入れる。
3	3	講座	児童文学講座の実施	文学館	保	児童文学への理解を深めることにより、個人の読書行動や子どもの読書に関わる活動に寄与する。	・子どもの読書活動の支援につながる保護者向けの講座の内容を再検討する。	・引き続き、保護者を対象とした絵本や児童文学に関する事業を実施する。	・絵本作家・長田真作氏を招聘し「絵とことば、絵本について」の講演会を開催、39名の参加があった。	B	・引き続き、参加者ニーズと社会状況の変化に応じて、絵本に対する保護者への関心を喚起する講演会の実施を検討する。	・より多くの方に参加してもらえよう、参加者ニーズ、参加資格、講座内容の再検証を行う。 ・絵本作家や絵本づくりに携わる関係者を招聘し、絵本づくりの現場からリアルな声を届けることで、保護者の関心を喚起する。
3	4	ボランティア 養成	保護者向け絵本の読み聞かせ講座の実施	図書館	保	保育園・幼稚園や小学校で読み聞かせを行っている保護者に対して、絵本の読み聞かせ講座を実施する。	・館ごとに個別で講座を開催するのではなく市立図書館の事業として全館で計画的に実施する。	・「(全館の)児童担当者による打合せ」を実施し、テーマを検討する。 ・館ごとに「基礎編担当」、「実践編担当」とに振り分け講座を開催する。	・2022年度に実施した(全館の)児童担当者による打合せに基づき、以下の講座を開催した。 【さるびあ・塚図書館/会場:中央図書館】 ・6月1日「絵本の読み聞かせ講座～基礎編」:14名参加 【鶴川・金森図書館/会場:金森図書館】 ・6月29日「絵本の読み聞かせ講座～基礎編」:10名参加 【忠生・木曾山崎図書館/会場:忠生図書館】 ・11月21日「絵本の読み聞かせ講座～基礎編」:5名参加  ・2023年度実施した(全館の)児童担当者による打合せで2024年度実施する講座の予定を検討した。	B	・館ごとに個別で講座を開催するのではなく、町田市立図書館の事業として、全館で狙いを定めて講座内容を決定し、実施する。	・全館の児童担当者による打合せを行い、ボランティア講座を含めて、全体でテーマおよび開催時期を定めて、館で担当を振り分けて講座を開催する。

3	5	ボランティア養成	図書館おはなし会ボランティアの養成	図書館	保	ボランティアの更なる活躍のため、レベルアップ研修、おはなし会スキル講習を検討し、実施する。	・館ごとに個別で講座を開催するのではなく市立図書館の事業として全館で計画的に実施する。	・「(全館の)児童担当者による打合せ」を実施し、テーマを検討する。 ・館ごとに「乳幼児ボランティア向け」、「語り手向け」などに振り分け、研修等を開催する。	・2022年度に実施した(全館の)児童担当者による打合せに基づき、以下のとおりボランティア養成講座を開催した。 【中央図書館/会場:中央図書館】 ・10月17・24・31日「おはなし会ボランティア養成講座(乳幼児)」受講者:12名/修了者:10名 ・3月5日「乳幼児ボランティア向け講座(わらべうたであそぼ)」:14名参加  ・2023年度実施した(全館の)児童担当者による打合せで2024年度実施する講座の予定を検討した。	B	・館ごとに個別で講座を開催するのではなく、町田市立図書館の事業として、全館で狙いを定めて講座内容を決定し、実施する。	・全館の児童担当者による打合せを行い、ボランティア講座を含めて、全体でテーマおよび開催時期を定めて、館で担当を振り分けて講座を開催する。 ・引き続きボランティア養成講座を実施する。
3	6	ボランティア養成	文学館おはなし会ボランティアの養成	文学館	保	「ちちんぷいぷい支援隊」メンバーの更なるレベルアップを図るための研修を継続して行う。メンバー以外の子ども読書に関わる人も研修に参加してもらおう。	・子どもたちに質の高いおはなし会を提供するため、メンバーの更なるレベルアップを図る研修の機会を設ける。	・継続事業として実施予定。	・ボランティアグループ、保育士を交えた紙芝居、絵本読み聞かせ、わらべうたや手遊びのブラッシュアップ研修を年2回開催し、実演プログラムの振り返りを行った。 ・メンバー同士によるデモンストレーションの回数を増やし、研鑽の機会を設けた。	B	・引き続き、ボランティアメンバーによる実演内容の点検と相互指導の機会を設ける。 ・ボランティアメンバーの新規募集について、検討する。	・外部講師を招聘した研修機会の確保に努める。 ・演者による定期的なプログラムの実演機会を設け、相互に意見交換の場を設ける。 ・事業担当の司書による資料紹介を通して、購入資料の有効活用機会とする。 ・学生ボランティア等の参加について検討する。